



# 南高SSHだより

第10号  
H28.2.1  
新潟南高等学校  
SSH部発行

## 「SSH講演会」を全校生徒で聴講しました

10月30日（金）、本校体育館においてSSH講演会が行われました。今年度は、東京大学素粒子物理国際研究センター准教授の山下 了（やました さとる）先生をお迎えし、「宇宙の謎を解く最先端科学」と題してご講演をいただきました。

一番最初の宇宙がどうやって始まったか、生まれたての宇宙を再現する実験に世界の素粒子物理学者が挑戦していますが、東北に新しく誕生する可能性がある「国際リニアコライダー（ILC）」はその最先端研究施設です。全世界が注目するこの施設の建設計画に携わっている先生は、「理系にも国語力が必要。自国の文化、歴史をしっかりと学んでおく。」「文系も論理的に考えることをするべきだ。」など、生徒への熱いメッセージも伝えてくださいました。質疑応答を含めて1時間30分という限られた時間でしたが、先生は時間いっぱいまでお話ししてくださって、質問する生徒が後を絶たず途中で打ち切らなければならないほど有意義な講演会となりました。



### 生徒の感想より

- ・最近授業で習ったばかりの分野だったので面白かった。授業以上に粒子や宇宙について理解を深めることができ有意義な講演だった。
- ・日本にはまだ世界的な研究機関がないということを知った。日本人の科学者が海外に進出することはあっても、日本が海外の科学者を招致することがないのは残念に思った。
- ・とにかくおもしろかった。物理学の基本原則から始まり、最新の素粒子研究、物理学の歴史、いろいろなことが詳しくわかった。ビッグバンの再定義、今まで考えていた世界観が変わった。
- ・宇宙の歴史を東京と新潟の距離にすると、人類の歴史はたったの20cm、自分たちの人生は2mmなど、意外すぎて、宇宙っておもしろいなあと思った。
- ・素粒子という原子よりはるかに小さいものを研究することで、宇宙という我々の知っている最も規模の大きいものの始まりを知ることができることに驚いた。新しい素粒子が人為的に作れるかもしれないと聞き、それを作ることは放射線などと同じように危険がないのかなどと考えることができ、もっと自分で調べたいと思った。